

血液内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 悪性リンパ腫への同種造血幹細胞移植における Fludarabine-Melphalan レジメンと Fludarabine-Busulfan レジメンの後方視的比較

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 後藤 秀樹（血液内科・助教）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院血液内科 教授 豊嶋 崇徳

[研究の目的]

北海道大学病院血液内科で骨髄非破壊的前処置を用いて同種造血幹細胞移植が行われた悪性リンパ腫患者の治療内容の違いによる治療成績、および合併症の頻度について後方視的に検討する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

悪性リンパ腫の患者さんで、2003 年 3 月 31 日以降、2017 年 3 月 31 日までに骨髄非破壊的前処置による同種造血幹細胞移植の治療を受けている方

○利用するカルテ情報

年齢、性別、年齢、病歴、診断名、治療歴、自家末梢血幹細胞移植歴、移植の種類、移植治療に用いた薬剤、ドナーの種類（血縁、非血縁）、移植後合併症、予後、血液学的検査結果（ヘモグロビン濃度、白血球数、白血球分画、血小板数）、血液生化学的検査結果（総蛋白、アルブミン、T.Bil, D.Bil, GOT, GPT, LDH, ALP, γ GTP, BUN, Cr, Na, K, Cl, CRP, sIL2r）、画像検査（CT, PET-CT, MRI）、骨髄検査、口内炎の程度、下痢の程度、感染症の有無および治療内容

[研究実施期間] 実施許可日～2018年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院血液内科 担当医師 後藤 秀樹

電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823